

勤 務 実 績 証 明 書

※「受験教科」は中学校教員及び中学校で発達支援推進教員を希望する受験者のみ、「第2希望区分・教科」は併願受験希望者のみ記入する。

試験区分	受験教科	第2希望区分・教科	氏 名	評価対象時勤務校・勤務場所	受験番号
小学校教員 中学校教員 発達支援推進教員 養護教諭					*記入しない

※勤務校・勤務場所での実践で学んだことを記入する。(字数制限はないが、枠の中に収まるように記入する。)
 ※勤務校・勤務場所等の固有名詞は使用せずに記入する。訂正印は使用しない。

※ここまでは志願者が記入すること。

勤務時の勤務形態		正 規 ・ 任 期 付 ・ 臨 時 的 任 用 ・ 非 常 勤				
評 定	観 点					総合評価 SS・S・A・B・Cの 5段階で記入
	情熱・使命感	授業力(※1)	生徒指導力(※2)	人間関係能力	常識・倫理観	
※3 (5段階)	/5	/5	/5	/5	/5	
総 合 所 見 ※4						

- ※1 養護教諭受験者、授業を行わない立場の者の場合は、「授業力」欄に斜線を入れてください。
- ※2 「生徒指導力」欄については、児童生徒との関わりのない立場の場合は斜線を入れてください。
- ※3 「観点」欄は、5:「きわめて優れている」、4:「優れている」、3:「普通である」、2:「やや劣っている」、1:「劣っている」の5段階での評定を記入してください。
観点ごとの着眼点は、裏面を参照してください。
- ※4 「総合所見」欄には、勤務状況のうち、優れている点や課題を具体的に記述してください。また、実践において特筆すべき事項があれば記述してください。
- ※ **厳封にて、本人にお渡しください。**

上記のとおり証明する。

令和5年 月 日 学校・所属所名

所属長名



○観点ごとの着眼点

観 点	着 眼 点
情熱・使命感	<p>児童・生徒に愛情をもったかかわりができる。 自発的・自主的な行動がとれる。 先輩・同僚の助言を謙虚に受け止め、それを実践に生かそうとしている。 (校務分掌に関わる)業務処理が的確である。</p>
授業力	<p>児童・生徒の実態把握を的確に行い、それに基づいた授業展開ができる。 児童・生徒を引き付ける授業展開ができる。 児童・生徒のあらわれに対する対応が柔軟にできる。 児童・生徒や保護者を納得させる評価ができる。 意欲的に教材研究に取り組んでいる。</p>
生徒指導力	<p>児童・生徒理解に努め、個に応じた的確な指導・支援ができる。 児童・生徒の成長を願い、さまざまな取り組みができる。 児童・生徒に規範意識を身に付けさせる取り組みができる。 児童・生徒の問題行動に対して、的確な指導ができる。 集団指導ができる。</p>
人間関係能力	<p>保護者(来客・来場者)とのかかわりが適切にできる。 同僚と協力して教育活動に取り組むことができる。</p>
常識・倫理観	<p>社会人としての常識が身に付いている。 教員としてふさわしい規範意識・倫理観をもっている。</p>